

トルコでの地震による物流への影響

2023年2月6日早朝から、トルコ南部を震源とするマグニチュード7を超える地震が複数回発生しました。被害を被った方々に心からお見舞い申し上げます。今回の地震では人的被害だけではなく、道路や空港などのインフラにも多くの被害が発生していることが明らかになってきています。本号では、弊社現地駐在員・エージェントから入手した物流への影響に関する速報をお伝えいたします。

1. 地震の発生と物流への影響

- トルコの災害緊急事態対策庁(AFAD)によると、最初の地震は2月6日未明にガジアンテプ付近(トルコ南東、シリア国境近く)で発生しました。地震の規模はマグニチュード(M)7.7で、その9時間後には、最初の震源地の近くでM7.6の地震が起きました。
- 震源地に近い、トルコ南部 地中海沿岸のハタイ県イスケンデルン港(Iskenderun Port)では、コンテナヤードに置かれたコンテナが倒壊。可燃性の工業用オイルが入ったコンテナから出火したとみられる火災により、数百のコンテナから激しい炎が上がっている様子が報道されています。
- イスケンデルン港は鉄鋼業など重工業の拠点で、トルコ南東部における主要港の一つですが、この火災により操業停止に陥っています。周辺道路は救援物資の輸送のみが行われています。港湾の被害の確認や復旧の目途はたっていないとのこと。
- また、地中海沿岸のジェイハンへ原油を供給するパイプラインに異常は今のところ検知されていないものの、予防的措置として原油供給が一時停止されています。
- ジェイハンは、イラク北部やアゼルバイジャン産の原油の主要積み出し港で、大半は欧州の製油業者に輸送されています。1月には世界全体の供給の1%に相当する日量100万バレル以上の原油が同港から輸出されています。



イスケンデルン港の火災 (DHA/AFP/アフロ)



【参考ウェブサイト】

ロイター：<https://jp.reuters.com> ブルームバーグ：<https://www.bloomberg.co.jp>

gcaptain：<https://gcaptain.com> ALARABIYA News (<https://english.alarabiya.net>)

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。

編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、

これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



マリンピックスバックナンバー